



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月29日

上場会社名 スギホールディングス株式会社
 コード番号 7649 URL <https://www.sugi-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎原 栄一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 笠井 真
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 0562-45-2744

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	446,030	12.0	25,314	25.8	26,290	22.9	17,317	21.4
2020年2月期第3四半期	398,183	9.6	20,130	12.6	21,399	13.4	14,269	14.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 19,421百万円 (33.1%) 2020年2月期第3四半期 14,596百万円 (14.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	280.16	
2020年2月期第3四半期	230.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	317,391	197,225	62.1	3,190.64
2020年2月期	313,757	182,750	58.2	2,956.46

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 197,225百万円 2020年2月期 182,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		40.00		40.00	80.00
2021年2月期		40.00			
2021年2月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	10.7	30,000	0.8	31,500	0.1	20,000	3.8	323.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	63,330,838 株	2020年2月期	63,330,838 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	1,516,988 株	2020年2月期	1,516,887 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	61,813,858 株	2020年2月期3Q	61,814,006 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日~2020年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により企業収益の減少や個人消費の低迷、雇用環境の悪化などを招き、厳しい状況で推移いたしました。また、先行きの見通しにつきましても、新型コロナウイルス感染症の患者数が再び増加傾向に転じており、極めて不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、マスクや消毒用アルコールなどの感染予防商品、食料品や生活用品などの巣ごもり関連商品などの需要が増加した一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景としたテレワークの推進やマスクの常時着用といった生活スタイルの変化に伴う化粧品需要の低下、入国制限によるインバウンド需要の消失長期化などが見られ、当社グループを取り巻く経営環境につきましても予断を許さない状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは、従業員のマスク着用、レジ及び服薬指導カウンターへの飛沫感染予防フィルターの設置、店舗出入口への消毒用アルコールの常設など感染予防対策を徹底し、地域社会の人々の生活を支える社会インフラとしての役割を担うべく営業活動を継続いたしました。店舗の営業力強化に向けては、創業来の強みであるカウンセリング販売の推進や調剤実施店舗の増設、2020年9月の薬機法改正を受け、薬局と患者様をデジタルでつなぎ、薬局のかかりつけ化を推進・支援するアプリ「kakari」の導入、お客様と店舗をデジタルで結ぶスギ薬局公式アプリやスギサポアプリなどのダウンロード促進、お客様の満足度向上や業務の生産性向上を目的とした当社グループのDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めてまいりました。

店舗の出退店につきましては、引き続き関東・中部・関西・北陸エリアへの出店に注力し、98店舗の新規出店、14店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当第3四半期末における店舗数は1,371店舗(前期末比84店舗増)となりました。

以上の結果、売上高は4,460億30百万円(前年同期比12.0%増、478億47百万円増)、売上総利益は1,336億11百万円(同14.0%増、164億18百万円増)、販売費及び一般管理費は1,082億96百万円(同11.6%増、112億34百万円増)、営業利益は253億14百万円(同25.8%増、51億84百万円増)、経常利益は262億90百万円(同22.9%増、48億90百万円増)、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は173億17百万円(同21.4%増、30億48百万円増)となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億33百万円増加し、3,173億91百万円(前連結会計年度末は3,137億57百万円)となりました。これは主に建物及び構築物、商品、差入保証金、売掛金が増加した一方で、前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ108億42百万円減少し、1,201億65百万円(前連結会計年度末は1,310億7百万円)となりました。これは主に前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により買掛金が減少した一方で、賞与引当金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ144億75百万円増加し、1,972億25百万円(前連結会計年度末は1,827億50百万円)となりました。これは主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月23日の「2021年2月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,347	63,998
売掛金	28,211	30,020
有価証券	10,000	9,000
商品	63,668	72,268
その他	13,669	10,622
貸倒引当金	△13	△1
流動資産合計	196,883	185,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,994	60,790
その他(純額)	22,282	22,404
有形固定資産合計	74,276	83,195
無形固定資産	3,542	5,199
投資その他の資産		
差入保証金	22,861	25,060
その他	16,216	18,050
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	39,054	43,087
固定資産合計	116,874	131,482
資産合計	313,757	317,391

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,479	70,684
未払法人税等	5,220	3,319
賞与引当金	1,955	3,285
その他	26,123	26,164
流動負債合計	115,779	103,454
固定負債		
退職給付に係る負債	6,379	6,862
資産除去債務	5,517	5,977
その他	3,330	3,870
固定負債合計	15,228	16,711
負債合計	131,007	120,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	151,807	164,180
自己株式	△9,297	△9,297
株主資本合計	182,577	194,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317	2,414
退職給付に係る調整累計額	△144	△138
その他の包括利益累計額合計	172	2,276
純資産合計	182,750	197,225
負債純資産合計	313,757	317,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	398,183	446,030
売上原価	280,990	312,419
売上総利益	117,192	133,611
販売費及び一般管理費	97,062	108,296
営業利益	20,130	25,314
営業外収益		
固定資産受贈益	436	359
受取賃貸料	1,228	1,340
その他	744	767
営業外収益合計	2,409	2,468
営業外費用		
賃貸収入原価	840	1,065
その他	299	427
営業外費用合計	1,140	1,493
経常利益	21,399	26,290
特別損失		
減損損失	72	442
特別損失合計	72	442
税金等調整前四半期純利益	21,327	25,847
法人税、住民税及び事業税	8,270	9,167
法人税等調整額	△1,212	△638
法人税等合計	7,058	8,529
四半期純利益	14,269	17,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,269	17,317

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	14,269	17,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	2,097
退職給付に係る調整額	63	6
その他の包括利益合計	326	2,103
四半期包括利益	14,596	19,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,596	19,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。